



いじゅの木だより vol. 58

発行元：社会福祉法人 伊集の木会 就労支援いじゅの木
住所：那覇市宇古島12番地1 電話：098-864-0033
編集担当：猿渡 梓司

【11月の予定】

～B型・就労移行～

- 4日(月)振り替え休日
- 6日(水)予防接種
- 8日(金)工賃支給

～児童デイサービス～

- 1日(金)モニタリング開始
リズム遊び
- 11日(月)音楽療法
- 15日(金)リズム遊び
- 26日(火)音楽療法

【就労移行・B型】モニタリング

21日から一週間、就労移行支援サービスと就労継続支援B型を利用している方々を対象にモニタリングが行われました。モニタリングは利用者の現在の状況を把握するだけでなく、利用者本人や保護者の希望・意向を聞きとり、ニーズの変化を確認する重要な場です。また、保護者の方々と直接面談を行うことで信頼関係を築き、より円滑な支援の形をつくることも職員一同大切に考えていることです。今後の支援の方針を話し合うなかで不明な点や不安なことがありましたらどんな些細なことでも一度ご相談をよろしくをお願いします。



モニタリングの様子



【職員紹介】



石川正人
児童デイサービス

10月より児童デイサービスに配属になりました。
児童デイサービスの経験はありますが、まだまだ分からないことがたくさんあります。ご指導のほどよろしくお願いします。
子供たちに負けないよう元気に、皆で楽しめるような環境作りができるよう努めていきたいです。



【施設内研修報告】AED講習会

今回、利用者の急病時の対応を、迅速にかつ的確に行うために、施設のほうへAEDを設置することを決定しました。設置にあたり、どのようなときにAEDが必要なのか、使用に伴う操作方法や救助者の状態把握の方法を株式会社サニクリーンの職員から講義、実技を受けました。施設内外での要救助者への確な処置ができるように、定期的な施設内研修を行っていききたいと思います。



9月度皆勤のみなさん

皆勤手当を貰った方を発表します

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 伊禮保光さん | 比嘉正明さん | 具志晃一さん |
| 山岸浩之さん | 屋宜宣也さん | 平良隆行さん |
| 豊里拓史さん | 比嘉直喜さん | 伊禮 隆さん |
| 外間正克さん | 赤嶺明彦さん | 新垣和也さん |
| 宮城 力さん | 富山 勉さん | 城間和美さん |
| 知花行宏さん | | 合計16名 |



●植栽活動 与儀公園

10日、与儀公園にて植栽作業が行われました。いじゅの木で育てられたマリーゴールド、ペンタス、デージー、ペチュニアが植えられ、順調に育てば10月末から11初旬に開花が見込まれます。今後もきれいな公園作りに貢献して活動していきます。



植栽前



作業風景



植栽完了

●農場で育つ冬の花たち

いじゅの木にある農場では園芸班によってマリーゴールド、ペチュニア、ダイアンサス、サルビア、デージー、ペゴニアなど秋冬に向けた花の苗が育てられています。そのうち1,515鉢の苗が上で紹介した与儀公園の植栽に使われました。また約2千鉢の苗が注文を受けた企業に出荷しています。花の苗を育てることは大変ですが利用者の方々の活動の積み重ねが結果につながる活動です。(写真下は農場の様子。10月21日撮影。)



【就労移行班】就職決定！！



21日、就労移行班で活動してきた小嶺雅宣さんの就職先が決まりました。就職先は「沖食スイハン株式会社」です。清掃作業を中心に洗剤の入れ替えなど備品の管理を行ないます。今日までいじゅの木では「あいさつをすること」を意識的に頑張ってきました。就職に向かって真摯に取り組む姿は他の就労移行班のメンバーにとってよい刺激だったと職員 銘苅と石垣は振り返ります。就職おめでとうございます。今後の活躍をお祈りします。



日々頑張ってきた仲間と記念撮影 (中央下段 小嶺さん)



スーツ姿で記念撮影 (左から銘苅・小嶺さん)



実習生の受け入れ



今月は地域の特別支援学校より実習生の受け入れを行ないました。就労移行班と活動をともし、座学ではビジネスマナーを、野外作業ではパーキングの清掃を行ないました。最終日は別れを惜しみ涙する場面もありました。また、実習生からはいじゅの木の給食は「おいしい」という声を聞くことができ、全体的にのびのびと活動に取り組む実習生の姿がありました。



仲間友亮さん（写真中央）
大平特別支援学校
高等部3年生



仲間小舞さん（写真右）
大平特別支援学校
高等部2年生



安次富星弥さん
陽明高校特別支援高校
2年生



座学の様子：ビジネスマナーのほか、学校と社会の違いについて考え、仕事をするうえでの心構えを伝えました。



お昼休みは「パブリカ」ダンス



給食は残さず食べました



チャイルドシート清掃作業



【研修報告】意思決定支援と虐待防止に関する研修会



10月9日から11日、東京都新宿区にある全国障害者総合福祉センターにて「意思決定支援と虐待防止に関する研修会」が行われ、サービス管理責任者の下地が参加しました。

「意思決定支援とは、自ら意思を決定することに困難を抱える障害者が、日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることができるように、可能な限り本人が自ら意思決定できるように支援し、本人の意思の確認や意思及び選好を推定し、支援を尽くしても本人の意思及び選好の推定が困難な場合には、最後の手段をして本人の最善の利益を検討するために事業者の職員が行う支援行為及び取り組みをいう」（厚生労働省『障害福祉サービスの利用等にあたっての意思決定支援ガイドラインについて』総論、1 意思決定支援の定義より引用）

意思決定支援とは特に重度知的障害者についていうと、本人中心の支援を行うこと、固定概念を持たずに支援を行うことが大切です。研修では利用者に対して「見方を変える」

「行動を変える」「環境を変える」というキーワードで説明を受け、それら3つのキーワードが盛り込まれた個別支援計画を作成することの重要性に感銘を受けました。利用者の能力を活かしながら利用者の希望や利益にそった内容を個別支援計画に盛り込む。そのうえで利用者の可能性に視点を置きながら、選択肢を増やす情報提供が意思決定支援を行ううえで重要です。また意思決定支援に関連して虐待防止も重要な課題です。これからもよりよい施設運営を目指して努めていきます。（報告者：サービス管理責任者 下地大輔）



●秋休み ～首里城下町散策

16日、秋休みがある児童を対象に首里の散策に出かけました。首里城を出発して昼食は地域のソバ屋さんに立ち寄りました。道中は交通ルールを意識しながら歩きました。



昼食の様子



道中のひとこま



首里城公園で記念撮影

●誕生日会

25日、10月産まれの誕生日会を行いました。佐藤さんは16歳、國場さんは13歳になり、年々お兄さんやお姉さんの顔立ちになっています。児童や職員に囲まれてお祝いの歌に包まれると、ロウソクの火が吹き消されました。終始和やかな雰囲気の中皆でおいしくケーキを食べました。



●秋の音楽会

29日、「秋の音楽会」と題して、児童デイサービスの音楽療法のメイン講師である太田倫子先生と、那覇学園で音楽療法の講師を務める赤嶺志麻子先生による演奏が行われました。太田先生のピアノ伴奏に合わせて赤嶺先生がバイオリンを弾き、聞いている児童も静かに耳を傾けていました。音楽会では「情熱大陸」「旅立ちの日に」「ピリーブ」「花は咲く」のほか沖縄民謡の「ていんさぐの花」などが披露されました。



演奏の様子

●ハロウィン

31日、児童は仮装をしてハロウィンに出かけました。地域にあるカフェを訪問して声を合わせて「トリック・オア・トリート!!!」。事前に用意しておいたお菓子をお店の方が配ってくれました。その後、児童らは那覇学園を訪問。那覇学園の施設長をはじめ職員からお菓子を受け取りました。



協力頂いたカフェで記念撮影



那覇学園での記念撮影



那覇学園施設長（左）の仮装